

稲作情報

(田植え～分けつ期の管理)

令和8年度 第1号

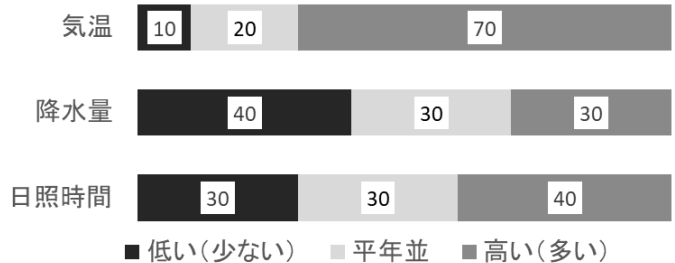
令和8年5月19日発行、福島県会津農林事務所喜多方農業普及所、JA 会津よつば、喜多方市、北塩原村、西会津町

基本技術の励行と適期作業で、高品質・良食味な会津米を生産しましょう！

1. 1ヶ月予報

- ・気温が平年より高くなる見込みです。天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・平均気温は高い確率70%、降水量および平均日照時間はほぼ平年並みの予報です。

仙台管区气象台、5月7日発表



2. 田植え時のポイント

- ・田植えは、風のない暖かい日(稚苗：日平均気温13℃以上、中苗：日平均気温14℃以上)に行いましょう。
- ・植え付け深：2～3cm程度で分けつの抑制や浮き苗、除草剤の薬害を防ぎましょう。
- ・植え付け本数：1株当たり3～4本で行い、過繁茂で細い茎にならないようにしましょう。

3. 水管理

(1) 田植え後～活着期

- ・田植え後は、風や低温から苗を保護し活着を促進するよう5cm程度のやや深水管理を行いましょう。

(2) 活着後

- ・活着後は、3cm程度の浅水管理とし、分けつを促しましょう。なお、極端な低温や強風時は深水管理により苗を保護しましょう。

(3) 分けつ期

- ・茎数を早期に確保できるように、3cm程度の浅水管理を行いましょう。
- ・昼間は止水し水温の上昇を図り、分けつの発生を促進しましょう。
- ・気温の上昇とともにガスがわきやすくなるため、温暖な日を選んで間断かん水や落水によりガス抜きをしましょう。藻類発生ほ場では、発生初期の段階で浅水管理または水を入れ替えましょう。多発した場合は一時落水し、田面を乾かすことで死滅させましょう。

(4) 中干し

- ・一株当たりの茎数が目標茎数の8割程度になったら、中干しを開始しましょう。田面に1cm程の亀裂が入る程度まで行い、出穂30日前までに終了しましょう。
- ・有効茎数の目安
コシヒカリ：430～480本、ひとめぼれ：500～550本、天のつぶ：500～550本

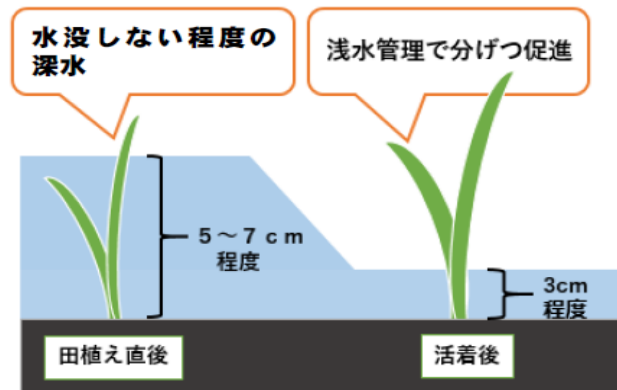


図1 移植後の水管理

表1 中干し開始時の茎数の目安※

株数 (株/坪)	株間 (cm)	有効茎数(本/m ²)			
		400	430	450	500
50	22.0	21	23	24	26
60	18.3	18	19	20	22
70	15.7	15	16	17	19

※有効茎数の8割となる株あたり茎数(本/株)

4. 除草剤使用時のポイント

- ・除草剤は、発生する草種に有効な成分を含む除草剤を選び防除しましょう。
- ・除草剤の効果を発揮させるためには、①**漏水対策**をしっかりと行う。②**水深（5～7cm）を確保**し薬剤を十分拡散させる。③**散布後は、7日間落水せず止水管理**とする。
- ・**雑草イネやクログワイ・オモダカ等**が多く発生しているほ場では、初期剤や初中期一発剤、中後期剤を組み合わせた**体系処理が効果的**です。
また、残った雑草の種類や量に応じて、中期剤や後期剤による追加防除を行きましょう。
- ・風が強い時は薬剤が均一に広がりにくく、ドリフトや薬害が発生しやすくなるため、**風がおさまってから散布**しましょう。
- ・農薬を使用する際は、**最新の農薬登録情報を必ず確認し、使用基準を守って散布**しましょう。

表2 残草対策・藻類に有効な除草剤の例(移植水稻)

除草剤名	対象	使用時期
フォローアップ1キロ粒剤	一年生雑草、ホタルイ、クログワイ、オモダカ等	移植後 15 日～ノビエ5葉期(稲4葉期以降) (但し、収穫 60 日前まで)
バيسコープ1キロ粒剤	一年生雑草(ノビエを除く)、ホタルイ、クログワイ、オモダカ等	移植後 14～60 日 (但し、収穫 45 日前まで)
トドメMF 乳剤	ノビエ等	移植後 14 日～ノビエ7葉期まで (但し、収穫 50 日前まで)
ツイゲキ1キロ粒剤 ツイゲキ豆つぶ250	一年生雑草及び多年生広葉雑草等	移植後 14 日(稲5葉期以降)～ノビエ4葉期 (但し、収穫 60 日前まで)
先陣200FG 先陣ジャンボ	一年生雑草、アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植7日前又は移植直後～ ノビエ1葉期(但し、移植 30 日前まで)
モゲトン粒剤	ウキクサ類、藻類(アオミドロ、アミミドロ)、 藻類による表層はく離	ウキクサ類、藻類の発生始～発生盛期 藻類・表層はく離の発生時 (但し、収穫 45 日前まで)

5. 病害虫対策

- ・田植え後に余った苗を放置している水田が多く見られます。
置き苗は、葉いもちの発生源になるため、**早期に撤去**しましょう。
- ・斑点米カメムシ類の対策として、**畦畔雑草の定期的な草刈り**を行きましょう。

6. 無人航空機による防除

- ・**無人ヘリコプターやドローン等**の無人航空機を用いて農薬散布する場合は、国や県の農薬の空中散布における**安全ガイドライン、航空法及び農薬取締法等を遵守**し、安全な利用に努めてください。
- ・**農薬(殺虫剤)の空中散布**を実施する場合は**実施計画書等および実績報告書の提出**が必要になります。
詳しくは、会津農林事務所喜多方農業普及所までお問い合わせください。

春の農作業安全運動推進期間：3月1日～5月31日

こまめに休憩を取り、安全・安心な農作業に努めましょう！

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5743

J A 会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801